

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

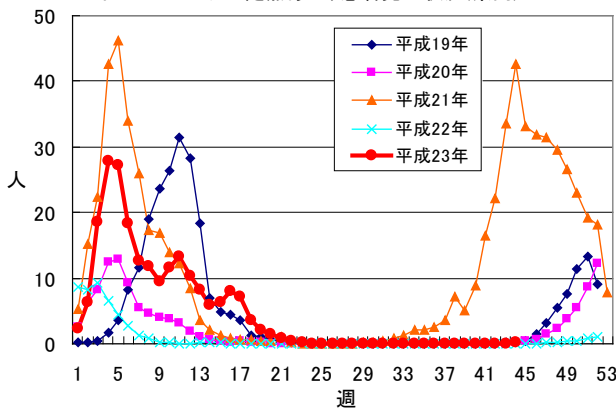
インフルエンザ

インフルエンザの定点あたり患者数は今週 **0.13 人** (先週 0.05 人) となりました。患者数としてはまだ少ないですが、県内の過去の動向から、これ位の患者数が報告されるようになると週ごとに患者数が増えていき、平均して 1 か月後ぐらいには流行開始の目安とされている定点あたり 1 人を超えることが多い傾向がみられます。現在のところ洲本保健所管内からの報告に偏っている傾向にありますので、全県的な流行への広がりには上記予想より遅くなるかもしれません。

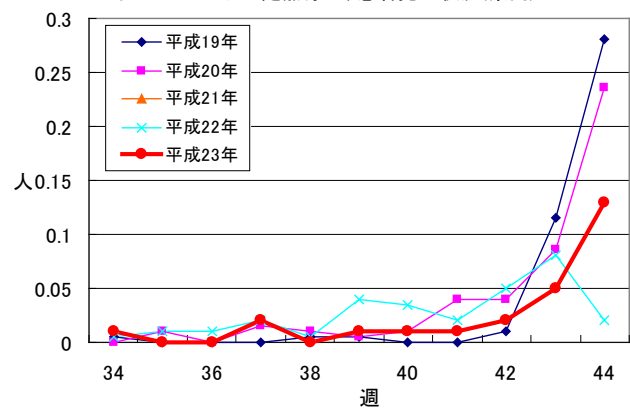
先週に続き、洲本保健所管内の同じ小学校の第 3 学年 (先週は第 1 学年) でインフルエンザによる学年閉鎖がありました。また、同保健所管内の中学校でもインフルエンザによる学級閉鎖が報告されています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



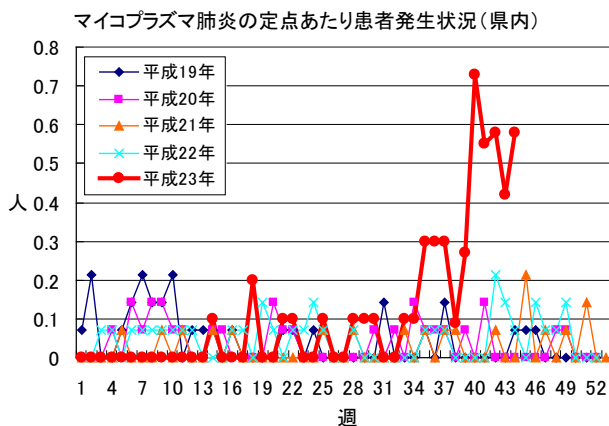
インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



(左のグラフを部分的に拡大しています)

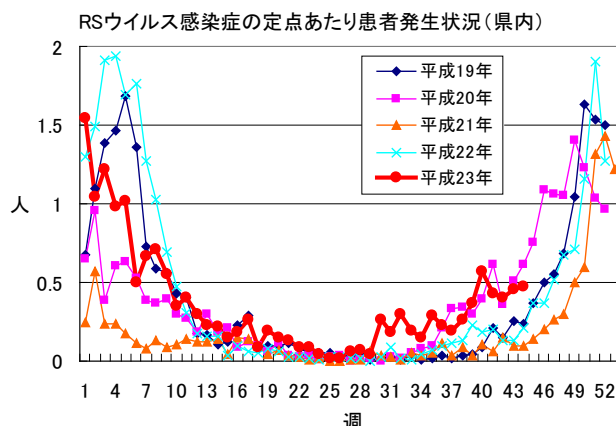
マイコプラズマ肺炎

定点あたり患者数は今週 **0.58 人**（先週は 0.42 人）と増加し、例年より患者数が多い状態が続いています。全国的にも例年に比して患者数が多く、注意が必要です。



RS ウイルス感染症

定点あたり患者数は今週 **0.47 人**（先週は 0.46 人）で、平成 20 年と同様に例年より患者数が多い状態です。全国的にも患者数が増加しており、注意が必要です。



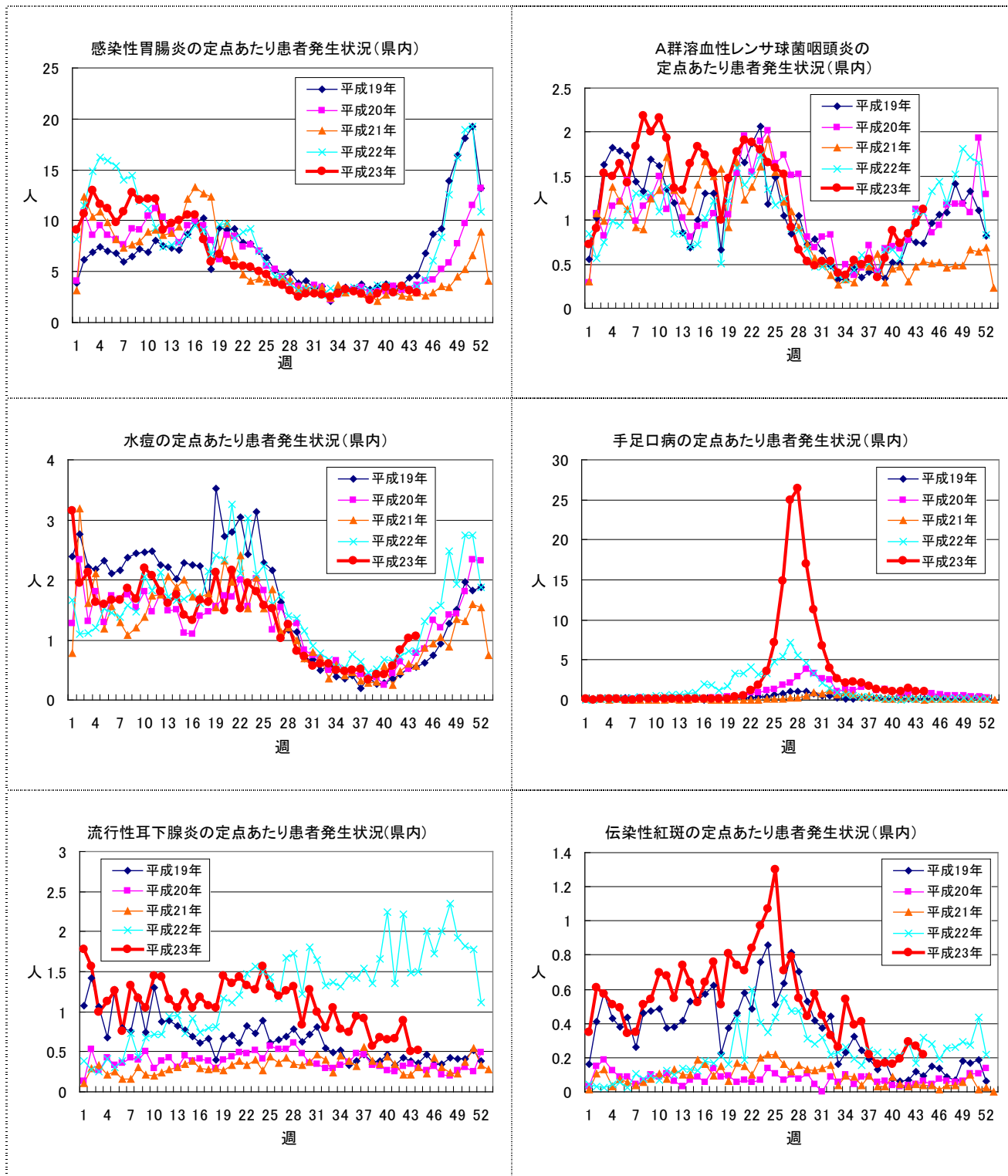
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	感染性胃腸炎	2.94	3.16	-0.22	6 位	流行性耳下腺炎	0.52	0.50	+0.02
2 位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.12	0.97	+0.15	7 位	突発性発しん	0.50	0.65	-0.15
3 位	水痘	1.07	1.03	+0.04	8 位	RS ウイルス感染症	0.47	0.46	+0.01
4 位	手足口病	1.06	1.12	-0.06	9 位	流行性角結膜炎	0.37	0.31	+0.06
5 位	マイコプラズマ肺炎	0.58	0.42	+0.16	10 位	伝染性紅斑	0.22	0.27	-0.05

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 32 名 （神戸市 10 名、尼崎市 5 名、姫路市 2 名、西宮市 1 名、芦屋保健所管内 1 名、宝塚保健所管内 2 名、明石保健所管内 3 名、加古川保健所管内 1 名、龍野保健所管内 5 名、赤穂保健所管内 1 名、丹波保健所管内 1 名）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1 名 （有症者 1 名、うち HUS 0 名） （神戸市；O145 VT2+ 男性 30 歳代 感染地域；国外） （累積報告数 111 名；有症者 90 名、うち HUS 2 名） 腸チフス 1 名 （神戸市；男性 90 歳代 感染地域；国内、感染経路；不明）
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	アメーバ赤痢 1 名 （伊丹保健所管内；腸管アメーバ症 男性 40 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）、 梅毒 1 名 （神戸市；早期顕症梅毒（Ⅱ期） 男性 40 歳代 感染地域；国内、感染経路；同性間性的接触）
追加報告	報告はありません。

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。